

オフィスづくりのエキスパートが提案 ウィズ・コロナ時代の働き方に対応した ワークブースの新宿ショールームがオープン

コロナ禍の影響で、日本のビジネス環境は大きく変化した。中でもリモートワークが進み、Webミーティングの需要が増加。対外的にも、オンラインによる商談件数が増え始めている。それに伴い、オフィスをコンパクトにして効率化を図る企業も少なくない。そんな状況下、創業20年を迎え、6,000社超のオフィスづくりの実績を誇るアロワーズが、ワークブースに特化したショールームをオープン。その戦略を伺う。



新宿ショールームに展示されているワークブースの価格帯は約30万円～180万円と仕様によって様々。感染症対策も完全に設計されている。

時代の変化に合った ビジネス空間の提案

2001年の創業以来、内装工事業者として多種多様な企業のオフィス設計と内装施工をしてきたアロワーズ。企業価値を高めるデザインと、働きやすいレイアウトを低予算&短納期で作ってきた実績もさることながら、専任のプロジェクトリーダーが直接企業に赴き、要望に合わせた提案を行うスピード対応力も、長年評価されてきた。

これまで働き方に合わせてオフィス全般をデザインしてきた同社だけに、昨今のコロナ禍によって働き方が大きく変わった企業から、オフィスレイアウト変更の相

談や内装工事の依頼が増えてきているという。

「社員の多い企業ほどWebミーティングの回数が増加。同じ時間帯に集中することも多く、Webミーティングを開催する場所がない。会議室を一人で使うこともできるが、効率が悪い——といった声が現場からあがっている」現状がその要因だと、同社の大塚昭彦代表取締役は指摘する。

これまでは会社の規模に合わせて、オフィスを移転する企業が主流だった。しかし今は、オフィスの一部改装することで働きやすい環境を簡単に作ることができることも大きいという。

例えば、10人用の会議室を4分

割すれば、1～2人用の空間を確保することができる。それを可能にしたのが、同社が提案する「ワークブース」である。

既に50件の実績 ヒアリングし設計

既に同社では、コロナ禍に50件ものワークブース設置の施工を手掛けたという。業種は面談や個々への連絡が多い人材派遣会社や、急成長しているIT系会社の導入が目立つ。

個別に内装工事として0から作ることもあるが、2020年秋ごろからオフィスメーカー各社がさま



働き方に合わせた生産性を高めるオフィスレイアウトを設計



ワークブースの用途はそれぞれ。2人用であれば打ち合わせルームとして活用もできる。

株式会社アロワーズでは専用のワークブースPR用のページを新設。体験・比較・導入を促す。
<http://arrowers.co.jp/work-booth/>



ざまな用途に合わせたワークブースを販売。各社とも力を入れ、デザイン性、機能性的にも優れた商品が揃うなど、ラインナップは充実してきた。また、価格帯的にもパッケージとしての導入が勧めやすく、移転してもそのまま新しいオフィスで使用できるなど、メリットも多い。

そこで同社では、複数のメーカーの商品を扱えるマルチベンダーという立場から、各社のパンフレットを揃え、ホームページでそれぞれの商品を紹介。さらに実際に体験して比較・導入してほしいと、自社の一部をショールームとして開放し、現在5メーカー、6ブースを設置している。

オフィスづくりは100社あれば100通りの考え方がある。効率を重視する会社もあるだろうし、社員の健康を優先する会社もあるだろう。業種、オフィスによっても遮音、照明、通気性、換気性、安全性、利便性など、それぞれ優先する項目は変わってくる。近年、万全な感染対策を望むところも多いという。売れ筋、トレンドだけで決められる商品でもない。

それだけに、同社ではしっかりしたヒアリングを行い、導入を検

討する会社のニーズに合わせたワークブースをコーディネートして勧めている。

実際に体験し導入 プロの立場から助言

では、具体的にどういった手順で導入が進められるのだろうか。

同社ではメーカーの選出、部屋のタイプ・大きさ・カラー・仕様、さらにオプションに何を付けるかはWebやパンフレットだけでは決めにくい商品であることから、実際に見て体験してもらうことを前面に打ち出している。

内覧後、社内稟議にかけ1週間で決断する会社も多いという。その後、同社のスタッフがオフィスに足を運び測量していく。事前に図面を用意、測量してもらえればある程度の把握はできるが、それでも現地を確認すると、商業施設によってはスプリンクラーなどの消防設備による制限などがあり、選択肢が狭まることも多い。設置場所、建築基準法、消防法に適しているか、プロとしてのアドバイスがここで生きてくる。

ブースを見に来た企業が、内装の相談をしていくことも多く、次

の展開・移転を含めた、同社が従来手掛けてきたオフィス全般のプロデュースにもつながっていく。1社1社、企業の成長に合わせて相談を受け施工し、長年関係を築いてきたからこそ、6,000社超の実績と信頼がある。

将来、1人1台のデスク、PCから1人1ブースの時代がくるかもしれない。「デスクで向かい合って仕事をしてきた時代から、個室で集中して仕事をし、アイデアを出す時は皆で集まる。仕事の内容によって場所を変える考え方が主流になってくる」と大塚代表取締役は予測する。

将来的にはマンション共用部への導入や、小型化し安くなれば自宅への検討も増えるだろう。まだ売り上げの10%に満たない事業ではあるが、需要に合わせて路面でのショールーム展開も視野に入れるという。同社では専門の「ワークブース事業部」を立ち上げ、さらに注力する意向だ。

TSR企業コード: 33-043454-3
株式会社アロワーズ
URL: <http://arrowers.co.jp/work-booth/>
お問合せ先: 03-5367-5111